

第67回 長野県山岳協会 定期総会

2026年4月5日 長野県山岳総合センター

総会次第

司会:事務局

- 1 開会の辞 副会長
- 2 会長挨拶 会長
- 3 来賓・顧問挨拶
- 4 新規加入団体の紹介 NAGANO CLIMB PROJECT
- 5 議長、議事録署名人選出(各2名)
- 6 資格審査(規約第16条第3項による)
評議員総数 -- 名 出席者(--名) 委任状(--名)
- 7 議長着席・挨拶
- 8 議事
 - (1)2025年度事業報告・活動報告
 - 1 総括 理事長
 - 2 総務部 総務部総括:広報・ホームページ
 - 3 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
 - 4 専門部 登山部総括:指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山・医科学
競技部総括:国スポ・SC・SC普及委員会
 - 5 国スポ準備委員会
 - 6 高体連報告 高体連
 - 7 個人会員・山岳図書資料館
 - 8 山岳総合センター
 - 9 ガバナンスコード スポーツ団体セルフチェックシート
 - (2)2025年度決算報告 事務局
 - (3)2025年度監査報告 監事
 - (4)規約改正
 - (5)表彰
 - (6)新役員の選出

<休憩> この間に第1回理事会開催

 - (7)2026年度事業・活動計画
 - 1 重点ポイント 理事長
 - 2 総務部 総務部総括:広報・ホームページ
 - 3 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
 - 4 専門部 登山部総括:指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山・医科学
競技部総括:国スポ・SC・国スポ準備・(仮)普及委員会
 - 5 高体連 高体連
 - 6 個人会員・山岳図書資料館
 - 7 山岳総合センター
 - (8)2026年度予算案
 - (9)その他案件
- 9 議長退任
- 10 事務連絡 事務局
- 11 閉会の辞 副会長

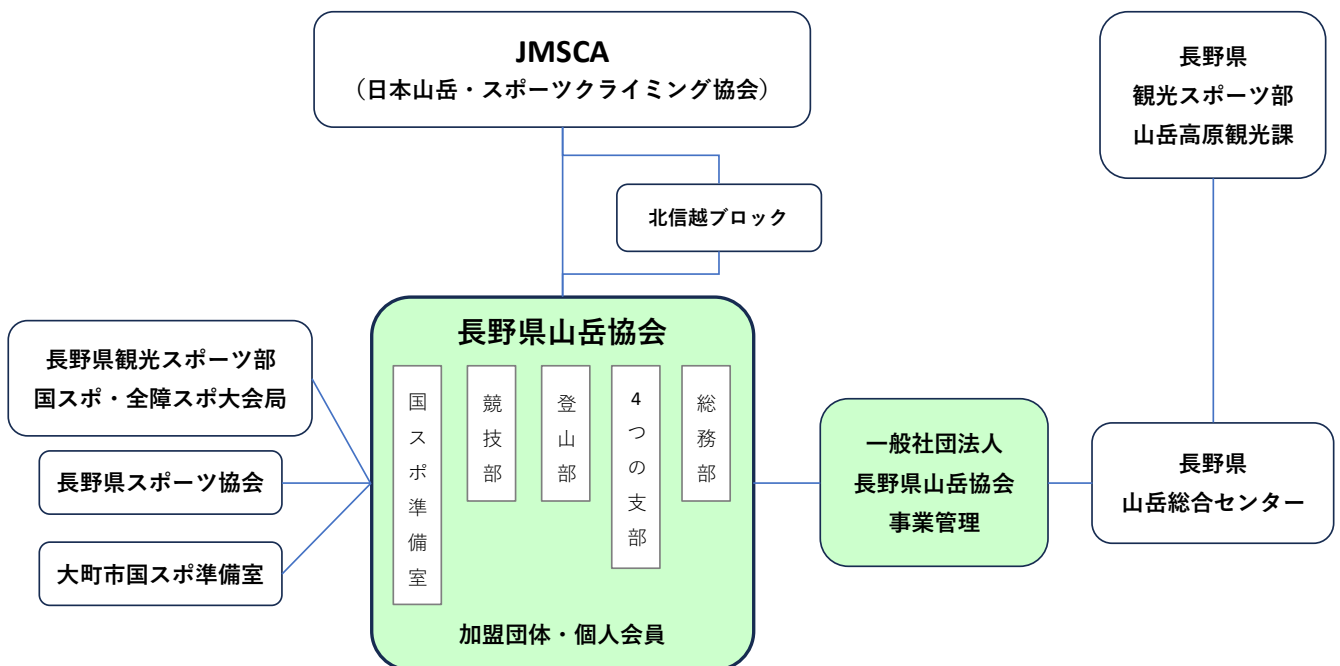
2025（令和7）年度総括

計画した活動は滞りなく実施できた。また滋賀国スポでは、少年女子ボルダーで優勝するなど2028やまなみ国スポに向けて着実に強化が進んでいる。しかし3つの構成団体が減ってしまったこと、2028やまなみ国スポに向けて経費が増えていくこと、協会活動を担う人材の不足、更には上部団体JMSCAの財政状態が安定しないことなど、将来に向けて不安定要素が露呈した年でもあった。

2026（令和8）年度重点ポイント

2028やまなみ国スポのSC競技運営とその後に向けて、強い協会を作る

1. 総務部 やることを取捨選択し、負担を分散する
2. 登山部・支部 新しい会員を増やす
3. 競技部 人材を確保し、持続可能な体制を作る
4. 国スポ準備室 粛々と準備を進める
5. 全体 関係機関と連携し、責任を果たし存在感を高める



【活動に関連する組織との関係】

総務部

2025年度活動報告

1) 総括

総務部においては、事務局長、事務局次長（庶務担当）会計担当、やまなみ担当、ホームページ担当で構成され、個々の担当による日々の事務的作業が積み重ねられた。

【事務局】協会あてに送付、送信される書類に加え不要情報（スパムメール・営業メール等）の仕分け、処理に対応した。痛手であったのが長年事務局長、事務局次長として運営の要であった佐伯氏（山幸グループ）の年度途中での米国赴任であった。同氏の渡米前から2名の方に協力を求め事務局長との3名体制で業務に対応した。

【会計担当】分担金や補助金など収入管理、各種支払いや各理事立替金の適正処理に当たった。国スポが近づくことを中心にして、新たな支出も加わって来ており適切な科目割振りに努めた。

【やまなみ担当】各支部選出の編集委員、各支部長や各委員長の尽力ならびに投稿者の協力により257号から260号を発行できた。

【ホームページ担当】ホームページ、Facebook、Instagramの更新を通年実施するとともに、複数の問題点が認められるサーバーの移転に関して複数年に渡る検討を重ね本年度内で運用、経費とも有利なXsarverサーバーへの移転を実施できた。

2026年度活動計画

1) 活動方針

【事務局】昨年度途中からの3名体制を維持、体制を整えたうえで適切な事務処理に当たることとする。

なお、ホームページのサーバー移転による相乗効果としてスパムメール、営業メール等の不要情報の減少にも期待している。

【会計担当】引続き適正な会計処理に務めていく。

【やまなみ担当】年度当初には年4回の発行を謳うが発行形態、発行意義に大きな転換期を迎えていることを真摯に捉え早期に結論を導き対処する。

【ホームページ担当】前年度に移転作業を整えることのできた新サーバーでのホームページ等々の本格的運用に向けた作業を進める。

また複数人での共有と理解を図ることを摸索するとともに適時、適切なSNSでの情報発信に努める。

広報 長野県山岳協会ニュースやまなみ

2025年度活動報告

1)総括

(1)年間 4 回発行

(2)協会の事業記録を主に、登山に関する記事を掲載。

事業記録記事は主に担当理事、各支部長にお願いし、また参加者の感想等についても手配をお願いした。

(3)編集・割り付けについては、主として編集担当で行った。

(4)郵便で毎回 200 通近く発送しているが、料金の値上げで毎回 3 万円弱かかっている。

2)活動内容

期 日	項 目	活動内容
6月14日	257号発行	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。
9月24日	258号発行	//
12月18日	259号発行	//
3月18日	260号発行	//

2026年度活動計画

1)活動方針

(1)年間 4 回発行し、各号 4 ページとする。

(2)山岳協会、各支部、各山岳会の活動記録、活動報告を中心に据え、記録および情報交換、情報提供の場にし、登山活動に活用できる機関誌を目指す。

(3)内容などに関する意見を各方面に聞いたり、編集委員がアイディアを出し合ったりすることで、会員でない人にも手に取ってもらえるような冊子になるよう工夫する。

2)活動内容

期 日	項 目	活動内容
6月10日	261号発行	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。
9月10日	262号発行	//
12月10日	263号発行	//
3月10日	264号発行	//

ホームページ (HP) 担当

2025年度活動報告

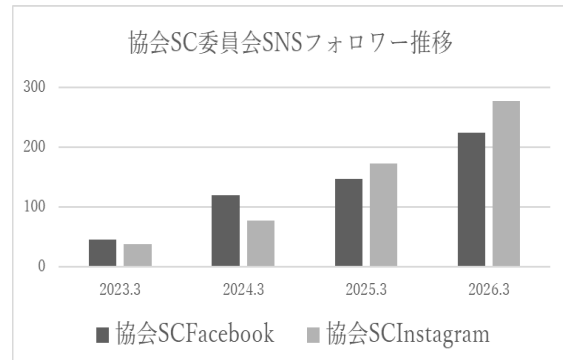
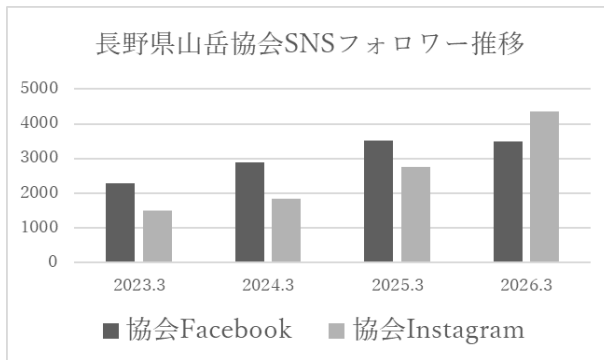
1) 総括

- ・ SNS での発信と、協会関係の連絡を HP 上で行うことが主な業務であった。
- ・ 各委員等の担当とは、メールや SNS での連絡で、迅速にやり取りが出来た。
- ・ 一般のユーザーは、協会に主に、県内の山に関する「旬な情報」や、イベント、会員募集等の情報を求めている。各会には、山に行かれた際の SNS 用の【写真、場所、一言】の提供、また、会員募集やイベントがあれば是非情報提供をお願いしたい。
- ・ HP の移転について

これまでは、html ファイルでの運用だったが Wordpress を利用することを決めた。
これに伴って、サーバーとドメインの業者をお名前ドットコムから Xserver へ移管。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
通年	ホームページ更新	
通年	SNS 更新	Facebook 及び Instagram
3 月	サーバー・ドメインの移管	3 月末に完了



2026年度活動計画

1) 活動方針

- ① 情報発信力の強化と各会との連携
SNS 情報発信回数の増加→フォロワー数増加につなげる
- ② 分かりやすく更新しやすい新 HP の運営 (4 月以降を目途に)
「更新しやすい・見やすい・探しやすい」HP の作成に努める
- ③ 各会との連携強化

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
適宜	ホームページ更新	随時、情報更新
適宜	SNS 更新	Facebook 及び Instagram
4 月～	新ホームページ稼働	コンテンツの制作

東北信支部

2025年度活動報告

1) 総括

恒例行事にそれぞれの会から多く参加いただき、交流しながら情報交換など有意義な活動を行うことが出来ました。

夏山登山教室は、念入りに準備していましたが中止は残念でした。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
6/7	物見の岩清掃	登山道整備等 参加人数:20人
6/14	夏山登山教室	根子岳登山計画も、 悪天候につき中止
11/1	東北信支部交流登山	地附山登山 参加人数:14人

2026年度活動計画

1) 活動方針

ここで支部会長が変わります。

地域に根差した活動を計画中です。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
6/6	物見の岩清掃	登山道整備等
6～8月	夏山登山教室	計画中
9～11月	東北信支部交流登山	計画中

中信支部

2025年度 活動報告

(1) 活動概要

- ①幹事会の開催を行った。
- ②次年度以降の活動について協議を行った。

(2) 実施

回	実施日	教室名称	活動内容
1	3月27日（木）	第1回幹事会	・今年度事業計画について (2024年度支部総会兼)
2	7月中	第2回幹事会	・夏山登山教室についての打合せ ・SNSでの打合せ実施
3	7月27日（土）	夏山登山教室	・夏山登山教室（ジュニアクライミング教室）の実 施 ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月26日（木）	第3回幹事会 (支部総会)	・今年度事業について ・来年度事業計画について

(3) 総括

- ・夏山登山教室は、山岳総合センターとの共催事業として二年ぶりの開催となりました。
- ・支部懇親会を予定しておりましたが、実現できませんでした。

2026年度 活動計画

(1) 活動方針

- ①加盟団体が交流し、親睦を深めるとともに登山技術及び安全登山の向上を図る。
- ②「登山教室」を開催し、登山活動の普及を図る。

(2) 実施予定

回	実施日	教室名称	活動内容
1	3月26日（木）	第1回幹事会	・今年度事業計画について (2025年度支部総会兼)
2	6月25日（木）	第2回幹事会	・夏山登山教室について
3	7月26日（日）	夏山登山教室	・夏山登山教室の実施（センター共催） ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月25日（木）	第3回幹事会 (支部総会)	・今年度事業について ・来年度事業計画について

諏訪支部

2025年度活動報告

1) 総括

- ・夏山登山教室は八ヶ岳北横岳で実施し、一般受講生 16 名、協会講師 9 名の参加で天候にも恵まれて無事に実施しました。
- ・第 47 回となる清掃登山：ここ数年八ヶ岳のゴミの量は減少傾向にあり、うれしい限りです。
- ・登ろうふるさとの山：「信州ふるさと 120 山」の一つである大出山で静かな登山を楽しむ。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
4/17 (木)	第 1 回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/3 (木)	第 2 回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/13 (日)	夏山登山教室	八ヶ岳北横岳で実施 (講師 9 名受講生 16 名)
9/11 (木)	第 3 回幹事会	夏山登山教室の反省 清掃登山最終確認
9/28 (日)	八ヶ岳清掃登山 (第 47 回)	普及指導部/自然保護部、麦草峠周辺の山域
10/25 (土)	登ろうふるさとの山	旧和田村 大出山
1/16 (金)	新年会兼第 4 回幹事会	活動内容まとめ、次年度活動計画検討
2/5 (木)	第 5 回幹事会	支部役員改選検討
3/12 (木)	支部総会	25 年度活動報告・決算/26 年度活動計画・予算

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・諏訪支部の各山岳会が登山を通じ親睦を深め、情報交換を図る。
- ・夏山登山教室は計画段階から一般参加者の安全を第一に考え、「安全、確実かつ楽しい登山」の普及を目的に、一般登山者の安全登山の向上を図る。
- ・「八ヶ岳清掃登山」、「登ろうふるさとの山」等の支部の恒例行事は継続して行う。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
4/16 (木)	第 1 回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/2 (木)	第 2 回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/12 (日)	夏山登山教室	指導部取りまとめ
9/10 (木)	第 3 回幹事会	夏山登山教室の反省 清掃登山最終確認
9/27 (日)	八ヶ岳清掃登山 (第 48 回)	普及指導部/自然保護部、取りまとめ
10/18 (日)	登ろうふるさとの山	
1/15 (金)	新年会兼第 4 回幹事会	活動内容まとめ、次年度活動計画検討
3/5 (金)	支部総会	26 年度活動報告・決算/27 年度活動計画・予算

伊 那 支 部

2025年度活動報告

1) 総括

- ・活動計画を実施して、支部各会との親睦と技術向上を図ることができた。
- ・交流会山行などにおいて情報共有し、安全登山の実施ができた。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
6月29日	ふるさとの山に登ろう	飯島・傘山にて実施 9名
7月20日	夏山登山教室	伊那・高鳥山にて実施 13名
10月26日	秋山交流会	松川・烏帽子岳にて実施 8名
1月18日	冬季訓練	北横岳・縞枯山荘周辺にて実施 11名
3月1日	春山交流会	飯島・傘山にて実施 10名

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・交流会と技術講習会を実施して、支部各会との親睦と技術向上を図る。
- ・安全登山のために、情報共有を行い遭難対策の充実を図る。
- ・長野県山岳協会活動への協力。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
6月予定	ふるさとの山に登ろう	飯田山岳会にて実施予定
7月予定	夏山登山教室	伊那山の会にて実施予定
10月予定	秋山交流会	駒峰山岳会にて実施予定
12月予定	冬季訓練	飯田山岳会にて実施予定
2月予定	春山交流会	駒峰山岳会にて実施予定

登山部

2025年度活動報告

1) 総括

4事業は登山部各委員の協力により計画通りに実施できた。参加者の感想には「貴重な経験、体験ができた」など今後も継続を望む声が多く聞かれ、これらの事業の開催は協会にとって重要な役割の一つであるとあらためて感じた。

2) 活動内容 【4事業】

期 日	項 目	参加者数等
5/10～11	第28回雪上技術交流会 in 針ノ木	参加者 名
9/27～28	第37回長山協キャンプ in 小川山	参加者 20名 ※日帰り含む (研修 11名、懇親会 12名)
1/24	長山協「山のセミナー」	豊科学習センターにて参加者 36名 (協会員 34名、一般 2名)
2/14～15	第11回ウインターミーティング in 八ヶ岳	行者小屋をベースに3グループに分かれて研修(参加者 40名)

2026年度活動計画

1) 活動方針

協会活動方針に基づき、協会内外の登山愛好者に交流と啓発の場を提供すること、また事業を担当する各委員会も横のつながりを持って共同で事業にあたることで登山部全体が活性化することを目標に、今年度も事業運営を行う。

2) 活動内容 【4事業】

期 日	項 目
5/16(土)～17(日)	第29回雪上技術交流会 in 針ノ木
10/3(土)～4(日)	第38回長山協キャンプ in 小川山
2027年 1/23(土)	長山協「山のセミナー」
2/13(土)～14(日)	第12回ウインターミーティング in 八ヶ岳

指導委員会

2025年度活動報告

1) 活動概要

AC1 指導者専門科目 講習・検定

指導者更新研修事務 5件

針の木交流会時・小川山キャンプ時・WM時

山岳総合センター共催事業

登山者とクライマーのための方と膝のメンテナンス

雪上における支点構築～雪上における懸垂下降支点の検証

針の木交流会・小川山キャンプ・WMin 八ヶ岳について、登山部として実施

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
4/20-5/11	AC コーチ1養成講習	5名受講4名修了(合格)

2026年度活動計画

1) 活動方針

指導者有資格者への情報提供・更新研修及びAC1の専門科目講習検定について、着実に実施していきたい。

2) 活動内容

指導委員会単独としては、AC1指導者専門科目 講習・検定の実施

4月下旬から5月上旬

指導者更新研修事務

各行事に合わせ更新研修を計画実施及びJSPO・JMCSAとの連絡調整。

指導者名簿の整理 随時

登山部として実施予定の行事への協働

山岳総合センターとの共催事業への協力実施

9月12日(土) セルフレスキュー基礎

9月13日(日) セルフレスキュー応用

12月12日(日) 冬山の天気マネジメント

登山部 遭難対策委員会

2025年度活動報告

1) 総括

例年実施している登山部主催事業および山岳総合センター主催事業への共催に加え、遭難対策委員会主催の研修を長山協キャンプ初日に実施した。前年の事故を踏まえ無雪期の一般登山道における事故を想定した研修とし、危急時対応に関する基本技術の確認を行った。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
5/20 (火)	第1回遭対委員会 (一斉委員会)	年間計画打ち合わせ (参加者2名)
6/2 (火)	第2回遭対委員会 (Zoom)	長山協キャンプ初日の研修検討 (参加者：登山部長、遭対委員5名)
7/5 (土) ～6 (日)	JMSCA 全国遭対委員長会 議・研修会	online 参加
9/27 (土)	危急時対策研修 ※長山協キャンプ初日	無雪期一般登山道での危急時対策 参加者13名(遭対委員会主催)
11/29 (土)	スキルアップ研修会①	体のメンテナンス (山岳センター主催、指導委共催)
1/31 (土)	スキルアップ研修会②	雪山における支点構築 (山岳センター主催、指導委共催)

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・遭対委員会主催研修会の実施
- ・登山部主催4事業の実施
- ・山岳センター事業(スキルアップ研修会)への共催
- ・JMSCA 全国遭難対策委員長会議、全国山岳遭難対策協議会への参加
- ・山岳遭難事故発生時の対応と支援

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
9/12 (土) ～13 (日)	スキルアップ研修会①	セルフレスキュー基礎・応用 (山岳センター主催、指導委共催)
10/3 (土)	危急時対策研修 ※長山協キャンプ初日	無雪期一般登山道での危急時対策 (遭対委員会主催)
12/12 (土)	スキルアップ研修会②	冬山の天気マネジメント (山岳センター主催、指導委共催)

自然保護委員会

2025年度活動報告

1) 総括

長野県山岳総合センター及び登山部各委員会とも連携を図りながら共催事業として、自然観察会を3回実施した。一般参加を中心に、協会の参加も増加傾向。観察を通して、動植物に対する知識理解を高めつつ、自然に親しみ、自然保護を考える好機となった。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
5月18日(日)	春の野鳥観察会	長野県山岳総合センターと共催、戸隠森林植物園にて。講師井上章さん(ネイチャーガイド・き楽珈琲)。14名参加。
11月15日(土)	秋の植物観察会	長野県山岳総合センターと共催、鷹狩山にて。講師中村千賀さん(戸隠地質化石博物館)。22名参加
1月17日(土)	冬の野鳥観察会	長野県山岳総合センターと共催、安曇野市明科御宝田)にて。講師井上章さん。24名参加。
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集、協会 SNS を通じて広く信州の山のすばらしさを周知する。HP 担当と協力。会員へ投稿の呼びかけ。

2026年度活動計画

1) 活動方針

各支部の委員の活動を期待しつつ、長野県山岳総合センター及び登山部各委員会とも連携を図りながら観察会を中心に、協会員及び一般が自然に親しみながら、自然保護を考えていける「参加したい」と思える活動を行う。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
5月30日(土)	春の野鳥観察会	長野県山岳総合センターと共催 (長野市戸隠 森林植物園)
5月31日(日)	春の植物観察会	長野県山岳総合センターと共催 (長野市戸隠 鏡池周辺)
10月17日(土)	秋の植物観察会	長野県山岳総合センターと共催 (長野市 地附山)
27年1月16日(土)	冬の野鳥観察会	長野県山岳総合センターと共催 (安曇野市 御宝田)

3) 対外会議等

- ① 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会
- ② 高山植物等保護対策協議会
- ③ 中央アルプス国定公園管理運営計画意見交換会
- ④ JMSCA自然保護委員会 委員長会議
- ⑤ 長野県自然保護連盟

ジュニア委員会

2025年度活動報告

1) 総括

4回の教室実施を計画したが、天候等の理由により2回の実施となった。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
8/2～8/3	たかがりキッズキャンプ	センター宿泊、鷹狩山登山など
9/20～9/21	親子クライミングキャンプ	天候不良のため中止
11/18	親子サバイバル day キャンプ	松本市公園、火起こし体験など
2/8	雪のたかがり山ハイク	天候不良のため中止

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・登山・自然体験教室を実施する（山岳総合センターとの共催）。
- ・教室のありかたについて検討及び協議を行う。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
7/11	こどもサバイバル防災教室	登山に役立つ体験等
8/22	外岩ロープクライミング教室	クライミング体験など
11/14	親子サバイバル教室	登山に役立つ体験等
2/7	雪のたかがり山ハイク	親子で登山

登山部 国際登山委員会

2025年度活動報告

1) 総括

数年前から構想を描いてきた海外サマーキャンプ企画を実施した。協会員 11 名が参加、渡航準備・訓練山行などを隊員自ら推進し、パキスタン北部の Moses Peak5350m に登頂、フンザ散策をして帰国した。参加者からは“初めての標高を経験し、海外の山を身近に感じる事ができた”という感想が得られ、協会員の海外登山へのニーズがあると感じた。(報告書あり)

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
5/20	NMA サマーキャンプ 2025 検討会実施	計画内容の検討
6/14	JMSCA 全国国際委員ミーティング出席	事業報告・計画等
6/15	第 61 回海外登山技術研究会 2025 出席	海外登山報告他
7/30～ 8/17	NMA サマーキャンプ 2025	トレッキング隊派遣
1/24	長山協 山のセミナー開催	登山部の事業を担当

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・ 西藏登山協会およびネパール登山協会との友好関係事業の継続
- ・ 海外登山検討会の実施
- ・ 長山協 山のセミナー開催(担当)
- ・ JMSCA 国際 AC 委員会の会合に参加、情報収集

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
6 月	JMSCA 国際 AC 総会出席	海外登山技術研究会(同時開催)出席
1/23(土)	長山協 山のセミナー開催	登山部の事業を担当
(随時)	海外登山検討会実施	計画検討

医科学委員会

2025年度活動報告

1) 総括

『健康増進や予防の重要性』など、共に学びながら情報を提供してまいりました。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
年間で3回	『やまなみNo.257, 259, 260』への寄稿	登山やクライミングに必要な体づくり他
6月28日	講習会の開催 坂本元太講師による 『野外救命講習』	会場:信州リハビリテーション専門学校 参加者数: 長山協39名 一般13名
2月14～15日	ウインターミーティング IN 八ヶ岳	申込書のとりまとめ等 参加者数: 40名

2026年度活動計画

1) 活動方針

『生涯登山を楽しく安全に』を提案してまいります。

2) 活動内容

期日	項目	活動内容
年間で3回程度	『やまなみ』への寄稿	登山やクライミングに必要な体づくり等
10月25日(日)	講習会の開催 坂本元太講師による 『野外救命講習』	会場:信州リハビリテーション専門学校

競技部

2025（令和7）年 まとめ

1. 北信越ブロック講習会（長野県主管、12月、山岳センター）でC級審判講習に選手の保護者の方々など新規11名、更新6名の方が受講した
2. 有志の方々が、強化指定にいたる前段階の子供達を対象に、トップクラスのコーチを招いた講習会を開催した
3. 補助金の総額は増えたが、県大会開催・審判資格取得/維持などに大きな費用が掛り、協会の会計に負担をかけた
4. 補助金の事務処理が膨大で、分担してやっているが負担は大きい

2026（令和8）年 ポイント

1. SC普及委員会（中嶋一恭委員長）を新設し、ユース世代の強化を中心に活動する
2. 空席だった部長を置き、スポーツライミングが、2028（令和10）年のやまなみ国スポ以降も競技として普及し根付いていくよう環境の整備を進める

国スポ委員会

2025年度活動報告

1) 総括(各大会成績)

長野県クライミング大会	M I 総合		
[ちゃんめろウォール]	M II 総合		
北信越国スポ	チーム総合	成年男子3位	
[富山県]		成年女子1位	
		少年女子1位	
国民スポーツ大会	成年女子ボルダー	5位	リード 10位
[滋賀県]	少年男子ボルダー	16位	リード 15位
	少年女子ボルダー	1位	リード 7位

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4/13	長野県クライミング大会	小谷村・ちゃんめろウォール
4/27	強化指定選手練習・説明会	小谷村・ちゃんめろウォール
5/25	北信越5県代表者会議	富山市
6/17	競技団体理事長・競技力向上専門委員合同会議	長野市
7/26～27	第46回北信越国民スポーツ大会	富山県
9/2	監督会議	長野市
10/2～5	第79回国民スポーツ大会	滋賀県・竜王町
12/23	競技団体理事長・競技力向上専門委員合同会議	長野市
2/7	来年度県大会準備会	安曇野市

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・県クライミング大会の企画・運営
- ・北信越国スポ・国民スポーツ大会への参加手続き
- ・県スポーツ協会、県観光スポーツ部との連携

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4/12	長野県クライミング大会	小谷村・ちゃんめろウォール
7/4～5	北信越国スポ大会	小谷村・ちゃんめろウォール
10/11～13	国民スポーツ大会	青森市

競技部・スポーツクライミング委員会

2025年度活動報告

総括

- ①強化指定選手の選考基準の文章を変更した(HPにて公開済)
- ②強化指定選手を指定した
- ③各支部からの委員構成ではなく国体経験者を委員にしていることで役割を分担し業務をスムーズに行うことが出来た。
- ④マルチサポート事業は12回行った。来年度はさらに活用したい
- ⑤トップコーチ事業を活用しコーチを招聘した。
- ⑥錬成・合宿を系18回行った。選手は北信越や本国体、ユース選手権で大きな成果を上げた。

2)活動内容

期 日	項 目	活動内容
4月7月 12月・2 月	委員会開催	委員会会議
4月27日	強化選手合同錬成	(ちゃんめろ)リード、ボルダー練習
7月12・ 13日	強化選手合同錬成合宿	(富山)リード、ボルダー練習
9月14日	強化選手合同錬成	(埼玉ルトラ)ボルダー練習
3月8日	強化選手合同錬成	(伊那エッジ)リード練習
2025年度	各種別強化選手錬成	全14回、リード、ボルダー練習

2026年度活動計画

1)活動方針

- ①強化指定選手中心の錬成。
- ②クライミングジムとの連携強化。
- ③長野県スポーツ協会との連携強化。

2)活動内容

- ①委員会を年4回開催し、指導方針と選手の成長を話し合う。
- ②基本的には選手それぞれが個人練習をする。
- ③全種別合同での練習会または講習会を年4回開催する。
- ④複数種別が合同で開催することも見据えつつ、各種別独自の錬成(合宿)をそれぞれ開催する。
- ⑤県のマルチサポート活用事業を積極的に活用する。
- ⑥トップコーチ招聘事業の活用

競技部 SC 普及委員会

2025年度活動報告

1) 総括

2026年度より本格稼働となる前年度として、準備期間とした。

是永敬一郎氏を講師に迎え、年4回のトップコーチ事業として、強化指定直下の次世代を担う選手の錬成を行った。

第3回・第4回については、参加選手を想定した専用セットを行い、レベルに合った錬成が出来た。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
R7. 8. 16	第1回錬成(ボルダー)	E&S 松本店での錬成 (B)
R7. 10. 24	第2回錬成(リード)	E&S 伊那店での錬成 (L)
R7. 12. 27	第3回錬成(ボルダー)	E&S 松本店での錬成 (B)
R8. 2. 14	第4回錬成(リード)	E&S 伊那店での錬成 (L)

2026年度活動計画

1) 活動方針

参加選手それぞれの個性を把握し、レベルアップを目指す。参加選手は次世代の長野県代表を目標に錬成に励む。

2) 活動内容

本格稼働となる2026年度は、選手の普及・育成を目的として、前年度に引き続き、是永敬一郎氏を講師として、年6~10回の錬成講習会を実施予定。

現段階で一応の予定としているのは県大会終了し、壁拡張後のちゃんめろで5月、北信越終了後の復旧セットで同じくちゃんめろで考えております。

その他はE&Sを中心に県内クライミングジムで実施希望です。

信州やまなみ国スポ準備委員会

2025年度活動報告

1) 活動概要

- ①JMSCA 国スポ委員会・常任委員としての活動
- ②大町市、長野県との連絡調整
- ③県からの各種調査への協力
- ④会議への出席
- ⑤その他

2) 活動内容

- ①毎月
- ②③④⑤ 下記参照

期 日	項 目
4月	③審判員養成計画作成への協力
4月	③競技会期調査作成への協力
5月	③競技用具整備調査作成への協力
5月8日	④国民スポーツ大会参加申込担当者会(オンライン)
5月27日	②大町市との話し合い
5月	③競技役員編成調査作成への協力
6月16日	④信州やまなみ国スポ SC 競技会・競技会場視察・懇談会 (JMSCA、県、市、長山協)
7月7日	②大町市との話し合い
7月	③会期最終調査作成への協力
7月31日	②大町市との話し合い
8月21日	②大町市との話し合い
9月1日	②大町市との話し合い
9月16日	②大町市との話し合い
9月	③大会運営費調査作成への協力
9月	③大会意向調査作成への協力
10月	⑤滋賀国スポにボルダー審判として参加
10月	③本部宿舎調査作成への協力
11月	③競技用具整備計画(最終)作成への協力
1月14日	④県ヒアリング(県、市、河竹)
3月	③リハ大会事業計画、要項作成への協力

3) 総括

- ◇運営スタッフへの協力を是非お願いしたい。

信州やまなみ国スポ準備委員会

2026年度活動計画

1) 活動方針

- ・市、県との綿密な連携
- ・役員募集・養成
- ・国スポの準備を各所と緊密に連携しながら進める

2) 活動計画

- ①JMSCA 国スポ委員会常任委員としての活動（毎月）
- ②大町市、長野県との連絡調整
- ③県からの各種調査への協力
- ④会議への出席
- ⑤役員募集・養成
- ⑥その他

3) 国スポ運営スタッフの仕事は以下の通りです。

①運営員講習

- ◇期日 2027年秋～冬
- ◇形式 オンライン（2時間程度）

②信州やまなみ国スポ・リハ大会

- ◇期日 2028年6月10日（土）・11日（日）
- ◇場所 旧大町北高跡地特設スポーツライミング会場
- ◇形式 滋賀県で行われた形式（Next Generation Cup）を踏襲。
2028年度の小学6年～中学2年生2名+監督で1チーム。
男女別各30チーム。
ボルダー、リードの2競技。
土曜に予選、日曜に決勝（8チーム）を行う。

③信州やまなみ国スポ

- ◇期日 2028年10月7日（土）～9日（月）
- ◇場所 旧大町北高跡地特設スポーツライミング会場
- ◇備考 前日（10/6）にスタッフが全員集合して準備を行う。

平日の参加は2028年10月6日（金）のみとなります。あとは休日です。

また、②③に関しては、県から派遣依頼が出ます。

特に現役世代の方にはできるだけ負担の少ないよう配慮したいと思います。

どうかご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

高体連

2025 年度活動報告

1. 活動概要

- ① 長野県高等学校総合体育大会登山大会の開催
- ② 北信越高等学校登山大会の開催と選手派遣。
- ③ 全国高等学校総合体育大会登山大会への選手派遣と支援。
- ④ 東北中南信地区新人体育大会の開催
- ⑤ 全国高等学校選抜クライミング選手権大会への選手派遣

2. 活動内容

- ① 令和 7 年度(南信地区)総合体育大会
期 日 令和 7 年 5 月 16 日(金)～5 月 17 日(土)
場 所 茅野市
会 場 蓼科山・双子池一帯
成 績 男子 1 位 岡谷工業A
1 位 岡谷工業C
3 位 飯田B

- ② 令和 7 年度 長野県高等学校総合体育大会 第 54 回登山大会
期 日 令和 7 年 6 月 5 日(木)～6 月 7 日(土)
場 所 上田市 根子岳・四阿山
会 場 菅平プリンスホテル
成 績 男子 1 位 松本県ヶ丘
2 位 大町岳陽
3 位 屋代
4 位 長野吉田
5 位 白馬
女子 1 位 松本県ヶ丘高校
2 位 大町岳陽
3 位 飯山
3 位 長野吉田
5 位 白馬

- ③ 令和 7 年度 北信越高等学校体育大会 第 37 回北信越高等学校登山大会
期 日 令和 7 年 6 月 19 日(木)～21 日(土)
場 所 上田市 根子岳・四阿山
会 場 菅平プリンスホテル
出場校 団体男子 大町岳陽(優秀校)・屋代・長野吉田・白馬
団体女子 大町岳陽・飯山・長野吉田(優秀校)

- ④ 令和7年度 全国高等学校総合体育大会 第69回全国高等学校登山大会
 期 日 令和7年8月5日(火)～9日(土)
 場 所 広島県 安芸太田町
 会 場 安芸太田町加計体育館・安芸太田町戸内ふれあいセンター
 いこいの村ひろしま 深入山グリーンシャワー多目的広場
 恐羅漢山・十方山・深入山
 成 績 団体男子 松本県ヶ丘 33位(94.4点)
 団体女子 松本県ヶ丘 24位(96.4点)
- ⑤ 令和7年度 南信地区登山講習会(沢登講習会)
 泰阜村 万古溪谷 8月23日(土)～24日(日)
 参加校:飯山・長野吉田・大町岳陽・下伊那農業・飯田
- ⑥ 令和7年度(東北中南信)地区新人体育大会
 北信地区:長野市 戸隠キャンプ場・黒姫山 9月12日(金)～13日(土)
 <団体男子・混合>1位 長野吉田A
 2位 飯山A
 3位 屋代混合A
 <団体女子>1位 長野吉田B
 2位 長野吉田A
 3位 飯山A
 東信地区:東御市 湯ノ丸高原 東麓ノ登山 9月27日(土)～28日(日)
 <個人男子>1位 (上田)
 2位 (上田西)
 3位 (上田西)
 <個人女子>1位 (上田)
 2位 (上田)
 3位 (上田西)
 3位 (上田西)
 南信地区:伊那市 甲斐駒ヶ岳・栗沢山一帯 9月19日(金)～20日(土)
 <団体男子>1位 岡谷工業A
 2位 飯田風越A
 3位 飯田B
 3位 飯田 OIDE 長姫A
 3位 下伊那農業A
 中信地区:松本市 美ヶ原 9月12日(金)
 <団体男子>1位 白馬
 1位 松本県ヶ丘
 1位 松本工業
 <団体女子>1位 松本県ヶ丘
 2位 大町岳陽
 3位 松本県ヶ丘

⑦ 令和7年度第16回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会

期日 令和7年12月20日(土)～21日(日)

会場 埼玉県加須市 加須市民体育館 ※個人名は削除済み

〈個人男子リード〉30位	松本秀峰(1年)
84位	都市大塩尻(1年)
85位	松本秀峰(1年)
〈個人女子リード〉7位	都市大塩尻(2年)
20位	松本美須々(3年)
35位	松本美須々(1年)
78位	上田西(2年)
〈男子学校対抗〉10位	松本秀峰()
〈女子学校対抗〉3位	松本美須々()

3. 総括

少子化に伴い、多くの高校部活動が競技人口を大きく減らしている中で、長野県の登山大会参加者は、R6 県総体 183 人に対して R7 県総体 188 人と(わずかながら)競技人口が増えました。活動の内容も、日帰り山行、テント泊を伴う縦走、競技登山、沢登り、スポーツクライミングなど、充実した活動が維持されています。

しかし参加学校数で見ると、R7 県総体 19 校に対して R6 県総体 15 校と、無視できない勢いで減少しています。高校山岳部はその活動における顧問教員の指導のウエイトが大きく、職員の異動や退職がそのままその学校の山岳部の存続の危機に直結しています。このままの流れが続くと「山に登りたい高校生はたくさんいるのに、山岳部のある学校はあまりない」ということになってしまいます。また、現在計画が進みつつある R31 長野インターハイを支える学校、スタッフの確保にも不安が生じます。

こうした中で、複数の学校が合同で行う取り組みが大きな意味を持ちつつあるように思います。南信地区の登山講習会(沢登り)は、南信地区だけでなく北信、中信地区の学校も参加し、非常に充実したものになりました。また、県山岳総合センターで開催していただいた高校生向け研修会も、異なる学校の山岳部員が共に登山スキルを高めるだけでなく、各校の活動について情報を共有する貴重な機会となりました。

長山協会員の皆様には、日頃から高校山岳部の活動に対し多大なるご支援をいただき、深く感謝申し上げます。そして上記のような現状を踏まえ、引き続きご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。

高体連

2026 年度活動計画

1. 活動方針

- ① 県総合体育大会登山大会や東北中南信地区新人大会の開催。
- ② 北信越高等学校登山大会への選手派遣と支援。
- ③ 全国高等学校登山大会・全国高等学校選抜クライミング選手権大会への選手派遣、支援
- ④ 県内高校生の山岳部員数の拡大、安全登山の啓蒙。

2. 活動内容

- ① 令和 8 年度（南信地区）総合体育大会
期 日 令和 8 年 5 月 15 日(金)～5 月 16 日(土)
場 所 茅野市
会 場 硫黄岳・赤岳鉱泉
- ② 令和 8 年度 長野県高等学校総合体育大会 第 55 回登山大会
期 日 令和 7 年 6 月 4 日(木)～6 月 6 日(土)
場 所 富士見町
会 場 西岳・編笠山
- ③ 令和 8 年度 北信越高等学校体育大会 第 38 回北信越高等学校登山大会
期 日 令和 8 年 6 月 19 日(金)～21 日(日)
場 所 富山県 立山町
会 場 大汝山・室堂周辺
- ④ 令和 8 年度 全国高等学校体育大会 第 70 回全国高等学校登山大会
期 日 令和 8 年 8 月 6 日 (木)～8 月 10 日 (月)
場 所 兵庫県 豊岡市・養父市・香美町
会 場 氷ノ山・鉢伏山・蘇武岳
- ⑤ 令和 8 年度 南信地区登山講習会（沢登講習会）
期 日 令和 8 年 8 月 23 日(土)～23 日(日)
場 所 泰阜村
会 場 万古溪谷
- ⑥ 令和 8 年度 地区新人体育大会
北信地区：山ノ内町 岩菅山・木戸池キャンプ場 9 月 11 日（金）～12 日（土）
東信地区：小諸市 黒斑山 9 月 26 日（土）～27 日（日）
南信地区：茅野市 天狗岳 本沢温泉 9 月 25 日（金）～27 日（土）
中信地区：開催地未定 9 月 11 日（金）～12 日（土）
- ⑦ 令和 8 年度 第 17 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会
期 日 12 月
会 場 埼玉県加須市

個人会員事務局

2025年度活動報告

1) 総括

継続会員20名並びに新規加入者10名の計30名（内1家族会員）の会員を得ることが出来た。毎年会員数は数年30名前後で推移をしている。

業務的には、

- ・更新案内・入会手続き案内、会員証の発行送付の個々対応
- ・イベント情報、安全登山情報を取捨選択しメールにて随時発信

これにより場合によっては加盟団体会員よりも確実かつタイムリーな情報の入手となっているものとも推測される。

なお、個人会員会費は一般会計として会計運用に資している。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
4月3日	未更新者への再案内、手続き	個々に応じた案内の発信、受信。
随時	入会希望者への案内、手続き	入金確認、会員証の発行発送
随時	情報発信	協会イベント、県、JMCA 等情報
1月17日	更新手続き案内	山岳共済含めた案内発信
3月4日	未更新者への再案内	
3月31日	会員証発送	

2026年度活動計画

1) 活動方針

円滑かつ丁寧な更新・入会手続きの実施
適切な情報発信の実施。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
随時	入会希望者への案内、手続き	個々に応じた案内の発信、受信。 入金確認、会員証の発行発送
随時	情報発信	協会イベント、県、JMCA 等情報
1月中旬	更新手続き案内	山岳共済含めた案内発信
3月上旬	未更新者への再案内	
3月末	会員証発送	

山岳図書資料館

2025年度活動報告

1) 総括

積極的活動は行わず、必要に応じ適切と考えられる対応を実施している。

2026年3月末資料収蔵状況 _____点

2) 活動内容

故、宮本顧問の家族からの依頼を受け図書資料館への納本原則について説明、後日の申し出を受けご自宅にて選書し必要書類作成の上図書資料館に納本。

納本方法にかかわる問い合わせに対応するとともに、協会関連図書を納本。

2026年度活動計画

1) 活動方針

例年同様、必要に応じ適切な対応を行っていく。

2025(令和7)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理報告

【総括】

今年度は、指定管理4期目の初年に当たる。昨年度末に若手職員が増え、4人体制でスタートした。職員が増えたことで、施設内外の整備も進み、新しいことにも取り組めた1年となった。

主催事業としては、長年、山岳センターの看板講習として継続してきた「リーダーコース」を一旦休講とした。今後、かたちを変えてのリーダーコース復活の可能性も残している。

施設利用の面では、ホールド替えの終わった人工岩場の利用が可能となった。

1. 主催講習について

○山岳協会の各委員会や支部（ジュニア、指導・遭対、自然保護、中信支部）、山岳会と共催という形で、各種講座や教室を開催した。うち2講座は、指導者資格更新講習として開催した。

○前年度まで開講していた、「すごいぞ！信州の山シリーズ」を「信州・山の自然学校」と改め、小学生も保護者同伴で参加できる講座数を倍の8講座に増やした。

○「親子サバイバルDAY キャンプ」と名付けた、火の起こし方や緊急避難用テントの立て方、野外調理等、いざという時に役に立つ知識と技術を身に着ける小学生とその保護者対象の教室を開催した。次年度も、防災教室として開催予定。

○開講3年目の「シニア安全登山教室」には、のべ80人を超えるシニア世代の方が参加した。講師には、参加者と同じシニア世代の協会員をお願いした。次年度は、教室の内容をやや変える予定。

○信州大学特任教授の原山智先生が講師の、信州の山を「地質」から紐解く講座「ハラヤマ探偵団」には、前年に引き続き、延べ100人近い参加者あった。

○登山道でクマの目撃が相次いでいる状況を受けて、登山者だからこそ知っておきたい基本的な知識、登山をする際に気をつけるべきポイントなどについて学ぶ講座「ツキノワグマと共生するために～登山者の私たちが知っておきたいこと～」を急きょ開催した。

2. 利用事業について

○ホールド替えの終わった人工岩場の利用が可能となり、人工岩場での講習会や教室が復活した。

○例年利用している団体の宿泊利用があった。県警や自衛隊の減免利用も多い。

3. その他の事業等について

○銀座NAGANOで、6月及び10月開催のサロンセミナー「信州 山の出張相談所 信州の山へ行こう」と「信州の山と安全登山～登山ツアーの安全対策と企画のポイント～」に、職員が講師として参加した。

○大町市中間教室「アルプスの家」の授業を、昨年引き職員が担当した。また、池田町の中間教室「にじいろ」の子どもたちが、体育の授業として年5回ボルダリング壁を利用した。

○学校登山に協力できる協会員ボランティアスタッフの登録及び派遣窓口を開設し、県内中学校の学校登山の実施に協力した。

○昨年に引き続き、1月の3連休初日に、八ヶ岳美濃戸登山口にて安全登山啓発を実施した。

○協会所有の低酸素装置の管理を行った。

2026(令和8)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理計画

(1) 主催事業

(ア) 安全登山の普及啓発事業の推進

①安全登山の普及啓発となる講習会や研修会の開催

○夏山と雪山登山の知識や技術を学ぶシリーズ講座を新たに開講

・「夏山スタートアップ講座」 「雪山スタートアップ講座」

○遭難の多いシニア層対象の登山教室「シニア安全登山教室」をリニューアル開講

○指導者対象のスキルアップ研修会の開催(指導者資格更新講習としての開催)

②安全登山の普及啓発に結び付く情報発信の充実

○デジタルツールのさらなる活用による、遠方居住のユーザーも気軽に学べる機会の提供

・登山の基礎基本を学ぶテキスト作成と、技術系中心のYouTube 公開

○HP やブログ、SNS の更なる活用による安全登山の普及啓発のための情報発信

○「登山中のヒヤリハットアンケート」まとめ公表

(イ) 次世代の育成につながる事業への注力

①子ども及び親子向け教室等の充実

○新たに開催する教室

・「親子外岩ロープクライミング教室」「岩石ハカセを目指そう!」「湯俣キッズキャンプ」等

○継続開催する教室等

・「わいわいKids ボルダリング教室」「親子ロープクライミング教室」「雪のたかがり山ハイク」等

・大町市中間教室「アルプスの家」の授業への協力

②高校・大学山岳部生徒、顧問対象

・県内の高校山岳部、登山部に在籍している生徒対象の交流を兼ねた研修会の開催(9、12月)

・全国の大学山岳部員を対象とした交流会兼技術研修会(3月)

③学校登山ボランティア派遣事業の継続および、引率者向けテキストの作成

(ウ) 他団体との共同開催事業の継続

①長野県山岳協会

・指導・遭対、ジュニア、自然保護委員会、協会中信支部との、講習会や研修会、教室の共催

②その他の団体等

・AvSAR 協議会、日本雪崩ネットワーク、長野県総合教育センター、戸隠地質化石博物館 等

(2) 利用事業

①気持ちよく安全に利用してもらえるよう施設管理に心がける

・施設の長寿命化に向けて、自前でできる修繕、メンテナンスを進めていく

②人工岩場の利用料金収受及びクライミングパスの有限パス化を軌道に乗せていく

(3) 管理その他

①スムーズな人事交替に向けての準備を進める

②新たな人材確保を進める

2025(令和7)年度 長野県山岳総合センター 収支見通し

	科目	見通し	備考
収入	指定管理料	27,565,000	
	施設利用	910,250	施設利用・宿泊・ボルダリング利用
	その他収入	333,996	外部への職員派遣など
	前期繰越し	-389,916	前期の損益
	主催事業収入	3,500,300	預かり金を除く
	小計	31,919,630	
支出	人件費	21,546,375	法定福利費、臨時職員含む
	管理経費	3,714,877	人件費以外の管理系費用、施設更新・備品更新含む
	主催事業支出	1,500,930	講師謝礼、交通費、燃料など。預かり金除く
	小計	26,762,182	
収支		5,157,448	3月19日時点の見通し

※この収支は3月19日時点のもので、ここから3月分の経費、消費税、源泉所得税などを支払った残りが今期の余剰金となる

(様式 1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名： 長野県山岳協会]

[記載日： 2026/3/19]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 非該当	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・規約を定め、組織的な活動を行っている。 ・会計口座は、団体活動のための専用の口座であり、個人の財産とは分別して管理・運営している。	

(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の利用にあたっては、当該施設の使用を遵守している。 ・ 登山にあたっては、法令、長野県登山安全条例等の遵守を会員に周知している。 	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規約上で組織を定め、理事、監事を置き、担当する役員を整備している。 	
原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年に一度の定期総会で基本方針の確認、承認を行っている。また、ウェブサイトで公表している。 	

原則3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	(A) B C
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部委員が長野県スポーツ協会協会のコンプライアンス講習に出席。 ・理事に対してコンプライアンス教育 	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	(A) B C
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 登録選手実施、指導者実施 	
原則4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	(A) B C
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。 	

<p>(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令 、ガイドライン等を遵守しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりガイドラインを決めて取り組んでいる。 	

<p>(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備している か。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。 	

原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。

<p>(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。</p>	<p>A B C</p>
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>非該当</p>	
<p>(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト上で組織の情報を開示している。役員、規程等。 ・年度ごとの収支は、2021年度から公表している。 	

原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンス

スコード<NF向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明

及び公表を行うべきである。

自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF向け>の規定があるか

(ある場合は下欄に記述)

原則■について

—

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

非該当

原則■について

—

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)

非該当

議事（４） 規約の改正について

目的

（第 18 条関連）

専門委員会中、競技部において活動の現状と担当者の現実的負担を鑑みスポーツクライミングへの導入活動を担う「スポーツクライミング普及委員会」を設置する。

（第 11 条・第 19 条関連）

総務部における各担当の設置内容を分かりやすくするとともに、事務局運営を総務部内において共有しえるよう、また取扱い担当の位置づけが不明瞭となってしまった個人会員担当を総務部において担うこととする。

加えて、各担当において委嘱委員を置くことを可能とし一人に業務及び責任が集中することを緩和する。

条文

第 11 条（役員の任務）

2. 3. 省略
4. 事務局長は、事務局を運営し、協会会計を処理する。
5. 省略

第 18 条（専門部・専門委員会）

1. 本協会に第 4 条の目的を遂行するため、次の専門部および専門委員会をおく。
 - (1) 登山部 省略
 - (2) 競技部
国スポ委員会
スポーツクライミング委員会
スポーツクライミング普及委員会
2. 3. 省略

第 19 条（総務部）

1. 協会に、円滑な業務運営のため総務部をおく。
 - ~~2. 総務部には、担当の副会長をおく。~~
 - ~~3. 総務部には、理事会で承認された事務員をおく~~
 - ~~4. 総務部内には、広報担当と会計担当及びホームページ担当をおく。~~
2. 総務部には、担当の副会長並びに次の業務担当をおく。
 - 事務局**
 - 会計担当**
 - 広報担当**
 - ホームページ担当**
 - 個人会員担当**
3. 事務局並びに各担当は必要に応じ理事会の承認を得て、事務局員または委嘱委員をおくことができる。なお広報担当は専門委員会と同様の委員をもって構成する。
5. 4. 総務部の規定は、理事会の議を経て別に定める

長野県山岳協会規約

第1章 総 則

第1条（名称・所在地）

本協会は、長野県山岳協会（以下「本協会」という）といい、英語名を NAGANO MOUNTAINEERING ASSOCIATION JAPAN(略称 N. M. A. JAPAN) とし、事務局を長野県内におく。

第2条（組 織）

本協会は、長野県内に事務所を持つ山岳団体で、第4条の目的に賛同して加盟するもの、及び長野県山岳協会の活動に賛同して加盟する個人をもって組織する。なお、県外を本拠地としていても、本協会の活動に賛同する団体が加盟を希望すれば、理事会にて審議した上で加盟を認めることもある。なお個人会員については、協会規約とは別の規程を定める。

第3条

本協会は、（公財）長野県スポーツ協会および（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会に加盟する。

第2章 目的および事業

第4条（目 的）

本協会は、正しい登山を指導普及してその健全な発展をはかり、あわせて加盟団体の交流をはかりながら、国民体育ならびに文化の向上に寄与することを目的とする。

第5条（事 業）

本協会は、前条の目的を達成するため、必要に応じて次の事業を行う。

- (1) 登山道徳の啓蒙と安全な登山の普及
- (2) 登山の普及および技術の向上に関する研究会、講習会の開催
- (3) 山岳遭難の予防とその対策に関する企画および指導
- (4) 自然保護活動の推進と登山施設の愛護
- (5) 競技登山の推進
- (6) 海外登山の推進、情報の収集・提供および計画の指導ならびに相談
- (7) 機関紙、年報その他必要な出版物の発行
- (8) 長野県山岳総合センターの運営
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

第6条

本協会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第3章 加盟団体

第7条（加 盟）

1. 本協会に加盟しようとする団体は、事務局に届け出て、理事会の承認を得なければならない。
2. このほかに必要とする事項は、総会にはかり、別に定める。

第8条（脱 退）

本協会を脱退するには、理由を付した文書で届け出て理事会の承認を得なければならない。

第9条（除 名）

加盟団体が次の各号の一つに該当するときは、理事会および総会の議決をもって除名することができる。

- (1) 分担金を理由なく滞納したとき
- (2) 本協会の名誉を傷つけ、または本協会の目的に反する行為のあったとき
- (3) 加盟団体の解散および消滅
- (4) 上記に準ずる事由がある場合

第4章 役 員

第10条（役員の種類および員数）

1. 本協会に、次の役員をおく。

理事 28名以内うち、会長 1名
副会長 若干名
理事長 1名
事務局長 1名
監事 2名

2. 前項に規定する役員のほか、会長は総会の議を経て名誉会長、顧問および参与を委嘱することができる。

第11条（役員の仕事）

1. 会長は、本協会を代表し会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときまたは欠けたときはその職務を代行する。
3. 理事長は、日常の協会業務を処理する。
4. 事務局長は、事務局を運営する。
5. 理事は、理事会を組織し、本協会の業務を議決し執行する。

6. 監事は、会計を監査する。
7. 名誉会長、顧問は、会長の諮問に応え、必要に応じて意見を述べることができる。

第12条 (役員を選出)

1. 会長、副会長は、総会で推挙する。
2. 会長および副会長を除く理事は、次の各号に掲げる者とする。
 - (1) 各支部から選出された支部長
 - (2) 各専門部、専門委員会から選出された専門部長、専門委員長
 - (3) 総会の承認を得て、会長が委嘱した者
3. 理事長および事務局長は、理事の互選により理事会で選出する。
4. 監事は、総会で選出する。

第13条 (役員の任期)

1. 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。
2. 補充役員の任期は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は任期を満了しても、後任者が選出されるまでは、その職務を行う。

第14条 (役員の解任)

本協会の役員としてふさわしくない行為があったとき、または特別な事情がある場合は、総会の議決によりこれを解任することができる。ただし総会の開催が困難な場合は、理事会の議決をもってかえることができる。

第5章 機 関

第15条 (会議)

1. 本協会の会議は、総会、理事会とする。
2. 総会は会長が召集し、理事会は理事長が招集する。ただし評議員または理事の3分の1以上から目的を示して請求があったときは、会長または理事長は、速やかに総会または理事会を招集しなければならない。
3. 会議の議長は、総会においては出席評議員の互選により選出し、理事会においては理事長がつとめる。
4. 会議の議決は、本規約で特に定めてあるほかは、出席者の過半数によって決め、可否同数のときは議長が決める。

第16条 (総会)

1. 総会は、本協会の意思決定機関であって、毎年4月定例総会を開催するほか、必要に応じて臨時総会を開催する。
2. 総会の開催通知は、日時、場所および議案を明示して開催日の15日前までに発送しなければならない。ただし緊急やむをえないときは、この期間を短縮することができる。
3. 総会は、評議員現在数の過半数の出席(代理出席者を含む)により成立する。ただし出席できない評議員は、その議決権を他の評議員に委任することができ、その委任状をもって出席とみなすことができる。
4. 各加盟団体、高体連の評議員数は、付則別表による。
5. 総会の議を経なければならない事項は、次の通りである。
 - (1) 前年度の事業報告および決算報告
 - (2) 新年度の事業計画および予算
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員を選出、推挙および解任
 - (5) その他重要事項
6. 議長は、議事録署名人2名を指名し、議事録を作成する。
7. 理事その他の役員は、総会に出席して意見を述べることができる。

第17条 (理事会)

1. 理事会は、本協会の業務執行機関であって、必要に応じて随時開催する。
2. 理事会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。ただし再度招集した場合はこの限りではない。

第18条 (専門部・専門委員会)

1. 本協会に第4条の目的を遂行するため、次の専門部および専門委員会をおく。
 - (1) 登山部
指導委員会
遭難対策委員会
自然保護委員会
ジュニア委員会
国際登山委員会
医科学委員会
 - (2) 競技部
国スポ委員会
スポーツライミング委員会
スポーツライミング普及委員会

2. 各専門委員会の規定は、理事会の議を経て別に定める。
3. 各専門委員会は、各支部から推挙された者と専門委員会の委嘱委員をもって構成する。

第19条 (総務部)

1. 協会に、円滑な業務運営のため総務部をおく。
2. 総務部には、担当の副会長並びに次の業務担当をおく。

事務局

会計担当

広報担当

ホームページ担当

個人会員担当

3. 事務局並びに各担当は必要に応じ理事会の承認を得て、事務局員または委嘱委員をおくことができる。なお広報担当は専門委員会と同様の委員をもって構成する。
4. 総務部の規定は、理事会の議を経て別に定める

第20条 (四役会)

1. 協会並びに理事会の円滑な運営のために、四役会をおく。
2. 四役会は、会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長をもって構成する。

第21条 (2028 やまなみ国スポ準備委員会)

1. 長野国スポの円滑な企画運営のために、2028 やまなみ国スポ準備委員会をおく。
2. 2028 やまなみ国スポ準備委員会には、担当の理事をおく。
3. 2028 やまなみ国スポ準備委員会担当理事は、必要に応じて準備室の室員を置くことができる。その際は理事会に諮る。

第6章 支部・高体連

第22条 (支部)

本協会の目的を各地区の実状に合わせて遂行し、あわせて地域の独自性と創造ある活動で本協会全般の発展に寄与することを目的に支部をおく。

第23条

支部は、原則として本協会の加盟団体によって構成される。

第24条

支部は、次の各地域ごとに設置する。ただし組織が全県下にわたり、いずれの支部にも所属しがたいと認められる場合には、理事会の議を経て全県組織とすることができる。

- (1) 東北信支部 長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、上水内郡、下水内郡、上高井郡、下高井郡、上田市、小諸市、佐久市、東御市、埴科郡、南佐久郡、北佐久郡、小県郡
- (2) 中信支部 松本市、塩尻市、大町市、安曇野市、東筑摩郡、木曾郡、北安曇郡
- (3) 諏訪支部 諏訪市、茅野市、岡谷市、諏訪郡
- (4) 伊那支部 伊那市、駒ヶ根市、飯田市、上伊那郡、下伊那郡

第25条

支部の規約は、理事会の承認を経て支部ごとに定める。

第26条 (高体連)

各高等学校の登山部は、高等等学校体育連盟(通称は高体連)登山専門部として加盟する。

第7章 付属機関等

第27条

本協会の目的達成に資する為、次の付属機関及び構成員をおくことができる。

1. 長野県山岳総合センター指定管理に伴う運営管理部及び部員
2. 山岳図書資料館の円滑な運営に資する運営委員会及び委員

第8章 会計

第28条 (経費)

本協会の経費は、加盟団体の分担金、寄付金その他の収入をもってあてる。

第29条 (分担金)

1. 本協会の加盟団体、高体連は、毎年付則別表に規定する額の分担金を納入しなければならない。
2. 分担金は、毎年5月までに納入するものとする。
3. 本協会へ新規に加盟した団体は、分担金の納入を1年間免除される。

第30条 (会計年度)

本協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第10章 規約の改廃・その他

第31条 (規約の改廃)

本規約は、総会に付議して、出席評議員の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。

第32条 (運営細目)

本規約を運営するために必要な細則は、理事会で定めることができる。

附 則

1. 本規約は、1966年8月7日から施行する。

2. 一部改正	1972年 4月 9日	1976年 4月 4日	1977年 4月 3日
	1981年 3月 20日	1984年 4月 8日	1989年 10月 29日
	1993年 4月 4日	1996年 4月 7日	1998年 4月 5日
	2003年 4月 6日	2005年 4月 3日	2008年 4月 13日
	2012年 4月 1日	2013年 4月 15日	2018年 4月 8日
	2019年 4月 14日	2020年 4月 12日	2021年 4月 11日
	2022年 4月 10日	2024年 4月 7日	2025年 4月 6日
	2026年 4月 5日		

3. 別 表

評議員数および分担金

加盟団体会員数	評議員数	分担金の金額
5名 以下	1名	20,000 円 (15,000+ 5,000)
6名 ~ 10名	1名	25,000 円 (15,000+ 10,000)
11名 ~ 15名	1名	30,000 円 (15,000+ 15,000)
16名 ~ 20名	1名	35,000 円 (15,000+ 20,000)
21名 ~ 25名	1名	40,000 円 (15,000+ 25,000)
26名 ~ 30名	1名	45,000 円 (15,000+ 30,000)
31名 ~ 35名	1名	50,000 円 (15,000+ 35,000)
36名 ~ 40名	1名	55,000 円 (15,000+ 40,000)
41名 ~ 45名	1名	60,000 円 (15,000+ 45,000)
46名 ~ 50名	1名	65,000 円 (15,000+ 50,000)
51名 ~ 75名	2名	75,000 円 (15,000+ 60,000)
76名 ~ 100名	2名	85,000 円 (15,000+ 70,000)
101名 ~ 125名	3名	95,000 円 (15,000+ 80,000)
126名 ~ 150名	3名	105,000 円 (15,000+ 90,000)
151名 以上	3名	115,000 円 (15,000+100,000)
高体連	1名	20,000 円 (協定金額)

加盟団体会員数は、前年度の登録人数とする。

長野県山岳協会 組織図

2026.4/5 改訂

